

RSセンターによる国産在来種種子の供給体制

■ 日本樹木種子研究所とは・・・

- 1996年に研究所を開設して以来、国内産在来種木本種子の採取・調整・貯蔵技術に特化した研究開発を行ってきました。
- 生物多様性に配慮した緑化を行なう上で必要な、国内産在来種 木本種子を取り扱うRSセンターをサポートしています。



■ RSセンターとは・・・

- 種子専用の貯蔵庫において、日本樹木種子研究所が開発した最適な手法を採用して在来種種子の貯蔵・管理を行なっています。
- 自動計量装置で厳密に計量・袋詰めした品質保持材入り種子を出荷し、生物多様性に配慮した緑化をサポートしています。



種子専用の貯蔵庫



種子の自動計量袋詰め装置

Point 1

これからの法面緑化では「外来生物法」や環境省の「生態系被害防止外来種リスト」などを踏まえて、在来種や地域性系統を活用した**生物多様性に配慮した緑化**が求められます。

Point 2

RSセンターは、**道路土工指針（平成21年度版）**に掲載されている播種工に用いる主な植物である**24種の在来種木本類に対応**しています。

Point 3

在来種木本種子の多くは、休眠性を有していることから従来の発芽試験では長期間を必要とし、タイムリーかつ正確な検査ができませんでした。



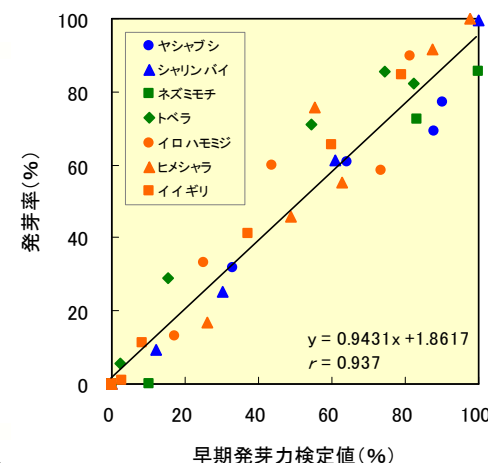
早期発芽力検定法は、休眠の有無に係わらず発芽率を一週間前後で検定することができます。

Point 4

地元で採取された地域性系統種子など、貯蔵が難しい**種子の貯蔵を受託**して、環境保全水準が高い地域における生物多様性に配慮した緑化をサポートします。

Point 5

日本樹木種子研究所は、早期発芽力検定法等による種子の**品質検定受託**、ならびに**種子の販売**を行っています。

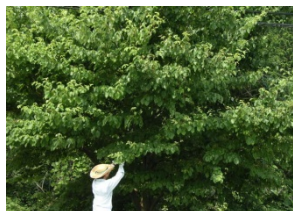


発芽率と早期発芽率検定値の相関関係

斜面樹林化技術協会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-12-7
東興ジオテック株式会社内
TEL: 03-6845-1526 FAX: 03-3456-8752
<http://isabou.net/nraj>

RSセンターの流れ



種子採取

在来種種子を採取します。



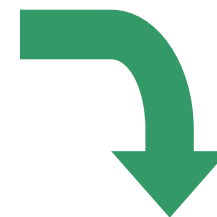
種子精製

採取した種子は、種類に応じて果肉除去などの精製を行ないます。



種子調整

精製した種子は、種類に応じて貯蔵に適する含水量に調整します。



袋詰・梱包

種子と品質保持材を混合して袋詰めし、ダンボールに梱包します。



RS種子完成

生物多様性に配慮した緑化工法で使用する高品質な国産在来種をお届けします。

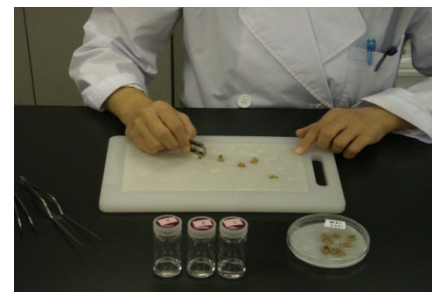
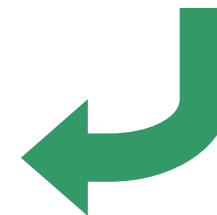


出荷状況



貯蔵管理

調整した種子は、木本種子専用の低温貯蔵庫において、各種子の特性に応じた最適な手法で貯蔵します。種子は、採取年度・採取地別にロット管理します。



品質管理

早期発芽力検定法を用い、貯蔵種子の品質検査を定期的にロット単位で行ないます。



自動種子計量装置

自動計量装置を用い、種子配合設計書に従って一施工単位ごとに種子を計量します。

